

記者発表について

1 発表日時 2004年6月22日(火) 15時—17時

2 発表場所 理学部1号館2階205会議室

3 発表タイトル

第一回 東京大学COE 合同シンポジウム

—同大学内にある2つの21世紀COEプログラム「動的分子論に立脚したフロンティア基礎化学」(理学系)と「化学を基盤とするヒューマンマテリアル創成」(工学系)が初めて合同で開催する研究講演会の開催—

開催日: 2004年6月25日(金)、26日(土)

4 発表者

岩澤康裕 (21世紀COEプログラム「動的分子論に立脚したフロンティア基礎化学」拠点リーダー、理学系研究科化学専攻教授)

藤田 誠 (工学系研究科応用化学専攻教授)

西原 寛 (理学系研究科化学専攻教授)

発表の主体となる機関あるいは責任者:

(機関) 理学系研究科化学専攻、工学系研究科応用化学専攻、化学システム工学専攻、マテリアル工学専攻

(責任者) 岩澤康裕 (21世紀COEプログラム「動的分子論に立脚したフロンティア基礎化学」拠点リーダー、理学系研究科化学専攻教授)

5 発表概要

現在、東京大学では、21世紀COE(センター・オブ・エクセレンス)化学・材料系分野において、理学系および工学系を中心とする2件の拠点形成プログラム(拠点リーダー:岩澤康裕、平尾公彦)が実施されています。本シンポジウムは、学内拠点間連携の初めてのイベントとして両拠点の合同主催(社団法人日本化学会共催)にて開催されます。基礎化学を根幹とする理学系プログラムとマテリアル創成を根幹とする工学系プログラムの連携は、基礎学術の発展が新しい応用技術を生み、応用技術の発展が人類の生活を豊かにし、また新しい基礎学術の発見と進歩の礎となっていることを踏まえると、21世紀COEプログラムが目指す国際研究教育交流拠点を形成するために重要な役割を担うと期待されます。

本シンポジウムは法人化された東京大学における21世紀COEの新たな展開を示すものです。

6 発表内容

このシンポジウムは二つのイベントで構成されています。一つは、両COEプログラムに参画する国際的に著名な本学研究者が集結し、化学・材料系分野の広範な領域を相補いな

から、基礎から応用までの最先端の科学を縦横に議論する講演会です。講演内容には、ごく最近 Nature, Science などに発表されたホットな内容が沢山含まれています。もう一つのイベントは、両 COE プログラムに参画する専攻にて学ぶ博士課程大学院生のポスター研究発表です。多くの大学院生は、リサーチアシスタント (RA) として COE プログラムから生活、研究支援を受けており、それぞれの拠点で得られた研究成果を、幅広い視点から評価し合うことによって、今後の研究展開と若手人材育成への大きな推進力が生まれるものと期待されます。優秀なポスターにはポスター賞を授与します。

(プログラム)

セッション 1 (基礎化学)

- | | |
|------------------------------------|--------|
| L1. 強光子場科学のフロンティア | 山内 薫 |
| L2. 人工プログラム分子を用いた金属の配列・運動制御 | 塩谷 光彦 |
| L3. 自己組織化による機能空間構築 | 藤田 誠 |
| L4. 常識外の反応: sp^2 原子上での SN_2 反応 | 奈良坂 紘一 |

セッション 2 (物理化学)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| L5. 活性表面の動的分子構造と新規触媒反応機構 | 岩澤 康裕 |
| L6. シアノ架橋型金属錯体強磁性体における新規外場応答性 | 大越 慎一・橋本 和仁 |
| L7. 磁性薄膜の磁気構造とスピン再配列 | 太田 俊明 |
| L8. Cat-CVD プロセスの化学反応素過程 | 越 光男 |

セッション 3 (生命化学)

- | | |
|---|-------|
| L9. 生細胞内ミトコンドリアの代謝活性と“生命のラマン分光指標” | 濱口 宏夫 |
| L10. バイオマテリアルの構築とバイオメディカル分野への応用攻 | 長棟 輝行 |
| L11. 高分子ナノミセルによる薬物・遺伝子のピンポイント・デリバリー
～ナノテクノロジーが拓くフロンティアメディシン～ | 片岡 一則 |
| L12. 生きた単一細胞内の分子過程を可視化する蛍光・発光プローブ分子
— 生命現象を担う細胞情報伝達の動態分析 — | 梅澤 喜夫 |

セッション 4 (マテリアル)

- | | |
|---|-------|
| L13. 化学産業を先導する基礎化学
— ネオプレンゴムにまつわる 100 年の疑問 — | 中村 栄一 |
| L14. ナノバイオインターフェイスの創製と機能 | 石原 一彦 |
| L15. 機能性高分子ゲルの設計とバイオメテック材料への展開 | 吉田 亮 |
| L16. 超分子・高分子化学的アプローチによる機能性ナノマテリアルの創成 | 相田 卓三 |

博士課程大学院生 ポスター発表 130 件